北のわらしべ

《秋号》 令和 4 年 10 月 31 日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)
連絡先；〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35
TEL　011-776-7981［法人本部］

秋のおとずれ・読書の秋・学習の秋

理事長　川本明良

コロナ感染の収束とはいきませんが、「ウイズコロナ」と呼ばれる社会の情勢を反映し、今秋は福祉関係の世界でも、コロナ前のこの時期のように会議、研修会などが開催されるようになりました。久しぶりと感じる対面の研修で、とても良い学習の機会、考える機会、刺激を受けた幾つかの研修があります。

その中の一つが「いのち見つめて」という映画の上映会と講師の方々の講演会、シンポジウムという盛りだくさんの研修です。脳外科医の山口研一郎医師が企画するこの映画は、三井三池炭鉱で起こった炭塵爆発で 800 名以上の方が一酸化炭素中毒（CO 中毒と呼ばれたそうです）の被害者となり、高次脳機能障害の症状が生じたという大事故について描かれています。見えない障害と向き合う人々、1960 年代という経済成長が著しい特別な時期に起こった大惨事ですが、この CO 中毒の問題を知る人は多くないようです。私自身もこの事故を遠い昔の出来事と感じていました。実は現代の問題に通じ、社会の在り方が問われると共に、現在にも通じる社会問題といえる内容といえます。

（札幌ファクトリーの秋/撮影スポット）

この映画では CO 中毒患者と共に、それを支える人たちの活動が描かれています。さらに高次脳機能患者と家族の生活や努力も紹介されています。この映画では患者と家族、患者と患者を支える人たちが同じ比重で紹介されているというのが大きな特徴だと感じました。同日に行われた複数の講師の方によるご講演の中でも、それぞれのご専門の内容に加えて「当事者と家族」の支援や「当事者家族同士」「人と人」の連携や協力が強調するお話がありました。福祉がサービスとなり、契約関係に基づく事業所支援の中で、私たち福祉事業者は利用者の皆さんと接していますが「当事者ご家族の支援」という視点が、すっぽりと落ちているように感じます。福祉契約制度では、ご家族の支援は切り離して考えることが一般的となりました。この「福祉サービス」という制度から、一歩踏み出すことが求められているようにも感じます。

（新幹線/子ども達のあこがれでした）

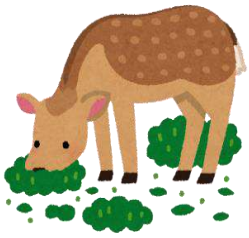
わらしべ会が学ぶコンダクティブ教育では利用者への支援は QOL の拡大や生活内容の拡大など常に広がっていくことを基本としています。一人の障がいのある方の生活を支援する時、家族との関係を含む支援を目指すことはとても大切なことかもしれません。タイトルにある「いのち見つめて」は「いのち」と「見つめる」人の両方を表していることを理解し、障がいのある人、高齢者、高次脳機能障害の方などの生活支援に取り組む私たちの課題がサービスに限定されるものでないことを、この映画を通じて学びました。

さて、景色が美しく変化するこの時期、厳しい冬が近づいていることに不安を感じる声を聞きます。わらしべ会の各事業所でも冬支度を始めました。30 年以上も前のことですが、この時期に恩師の一人が学生だった私たちに言ってくれた「暑い夏が過ぎて、過ごしやすくなったので、皆さんはこれから勉強に集中できますね」という言葉を思い出します。読書の秋ならぬ「学習の秋」ということでしょうか？コロナ感染によりこれまで Web 研修の便利さにドップリでしたが、直接、学習することの緊張感や、集中し易いことから、講習で理解する情報が多いことを痛感しています。すでに Web 研修・Web 会議が定着していますから両方をうまく活用して、学習の機会が増えればいいなと感じています。　　(*この秋大きな刺激を受けた研修その 2 を 7 面で報告)

今年は残念、わらしべ恒例、カボチャ収穫

（シカによるカボチャの被害）

平成 29 年から始めたわらしべ会のカボチャ栽培も今年で 6 年目をむかえ、栽培が軌道に乗ってきたと感じていましたが、、、、、気温が低く曇りの日が多かった今年の夏期の影響が大きいようです。今年のわらしべ会収穫の秋は、カボチャが未熟な上、鹿の被害が重なり、とても残念な年になりました。自然との共存が求められる農業の難しさを改めて感じています。



（シカ対策/とても大変）

大滝だより

大滝わらしべ園
〒052-0313
伊達市大滝区大成町１０
℡　0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail　waras@ootaki.tv

真夏の園庭 BBQ

（熱々！）

（わくわく！）

今年の夏は園庭でバーベキューを行いました。皆様炭の入ったバーベキュー台に興味津々で、にこにこしながら台を眺めておられました。火おこしが始まると、職員と一緒にうちわで風を送ってくれる利用者さんもいらっしゃり、炭に火が付くまで少し時間がかかったのですが、休まず最後まで扇いでいただきました。

火が着くと、初めに焼きマシュマロを作りました。利用者の皆様は焼きマシュマロを食べるのは初めてだったので、串に刺したマシュマロを、恐る恐る火に近付けていました。また、食べる時も戸惑っていましたが、一口食べるとトロトロした食感と甘さに、にっこり‼　おかわりも皆さん積極的でマシュマロはあっという間になくなりました。マシュマロで小腹を満たした後は、職員が焼き鳥を焼くのを見学しました。一部の利用者様は職員と一緒に園庭を散歩しましたが、その時に食べられるキノコをみつけたので焼き鳥と一緒に焼きました。焼き上がった焼き鳥ときのこは昼食時に食べましたが、皆様大満足の様子で召し上がっていました。

お気に入りの服を着て！洞爺湖散策

（きれいな花に囲まれて）

８月には感染対策を行い、洞爺湖へ散策に行きました。１度に全員は行くことができないので３回に分けて行きました。朝、自分で服を選ぶ利用者様に「今日はお出かけですよ」と伝えると普段あまり着ていないお気に入りの服を選び、外出を楽しみにしている様子が伝わってきました。

洞爺湖では、わかさいも本舗でケーキを買い、洞爺湖を眺めながら食べました。ケーキを選ぶ際、職員にどれを食べるか聞かれるとショーケースに並んだたくさんのケーキをすべて指さす方もいらっしゃいました。ケーキを食べるのも外出するのも久しぶりだったため皆様満面の笑顔でした。後日、引率にいかなかった職員に食べたケーキの話をするなど、思い出話をしてくれた利用者様もいらっしゃり、今回の外出を心から楽しんでいただけた様子でした。

（いただきまーす♬）

９月調理実習

（早く焼けないかなー？）

（噛むのが難しいけど、おいしーい！）

９月の調理実習では、お月見が近かったので、みりん焼き(せんべい)にソースを塗って目玉焼きをのせて食べました。

まずはみりん焼きにソースを塗ってもらいました。利用者様が強くソースの容器を握ってしまい、ソースが床に飛び散るハプニングもあり、職員は大慌てでしたが、本人は楽しそうに笑っておられました。全員がソースを塗り終わり、次は目玉焼きを作ります。卵を割ることができる方には容器に卵を割ってもらいました。黄身をつぶさずに割ることができ、職員に「すごいでしょ」と自慢げに見せてくれました(焼くまでにかき混ぜて溶き卵にしていましたが…)。そして卵をホットプレートに流し、フライ返しでひっくり返しました。調理実習では何回かやっている作業なので皆様慣れた様子で取り組んでいました。一連の作業を行うのが難しい利用者様は、ホットプレートの近くに集まってもらい、職員が目玉焼きを焼くのを見ていただきました。音がおもしろかったのか、卵をホットプレートに落とすたびにテンション高く、歓声を上げられていました。

焼きあがった目玉焼きを、ソースを塗ったみりん焼きの上にのせて完成です。目玉焼きの熱さでみりん焼きがふやけ噛み切りにくかったり、ソースで手が汚れたりしていましたが気にする様子もなくあっという間に召し上がりました。

今後の予定

11 月　遠足、12 月　クリスマス会

浦河だより

浦河わらしべ園
〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
℡　0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail　urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

地元の高校生と夏レクレーション

8 月には毎年恒例の夏のレクレーションを開催いたしました。
昼間は景品付きゲーム大会と青空喫茶、夜は花火大会で楽しみました。
昼間のゲームと喫茶は、感染症対策を徹底した上で福祉に興味のある地元の高校生（浦河高校、えりも高校、静内高校）10 名に就業体験でご参加いただき、ゲームの進行や喫茶のお手伝いをしていただきました。ゲームは輪投げをして的に入った合計で点数を決める方式です。また、重度の障がいをもった方も楽しんでいただけるようにボールを転がしただけで点数が決められるゲーム版も別に手作りしました。全員に景品はあたりますが点数によって景品ランクが違うため、利用者の皆さんは真剣そのものです。職員や高校生の皆さんの「もう少し」「頑張ってー」の声援や、うまく入ったときの拍手や歓声に、利用者の皆様も力が入ったご様子で一喜一憂してゲームを楽しんでいらっしゃいました。特に景品を貰う時は満面の笑みを浮かべておられました。運動の後は中庭の青空喫茶に移動してジュースで一服です。トロピカルジュースとクラッシュゼリーを用意しましたが、クラッシュゼリーが大人気ですぐ完売してしましました。喫茶では高校生との話が盛り上がり一緒に写真を撮る利用者さんもいらっしゃいました。

（どれにしようかなー）

（おいしそー🍴）

夕食の後は花火大会です。女性職員数名が浴衣を着て、雰囲気を盛り上げました。浦河の園周辺は馬の牧場地帯になっているので馬が驚くため打ち上げ花火は出来ませんが、色々な種類の吹き上げ式花火で楽しみました。締めの花火は「ナイアガラの滝」です。全て火が付いた光景は圧巻で「わーきれいねー」と利用者様の歓声が聞かれました。最後には食堂で利用者さん、職員全員で記念写真を撮り、いい夏の思い出となりました。

わらしべ祭

9 月にはわらしべ祭を行いました。午前中は職員の出し物や、札幌市内で活動されているよさこいチーム「むすび」さんをお招きし演舞をしていただきました。利用者の皆さんは職員の出し物にツッコミを入れたり笑ったり大いに楽しまれているご様子でした。よさこいの演舞には大盛り上がりで何回も大きな拍手を送られていました。昼食メニューはわらしべ祭特別メニューとして秋感じる栗ご飯にキノコ汁、鮭のちゃんちゃん焼き、串物を職員が調理して提供しました。デザートは羊羹やゼリーをお好みで選んでいただきました。「おいしーね」と利用者さんには好評でした。射的や綿あめも用意し思い思いに祭りを楽しんでいただきました。祭りの最後には、木彫り商品やぬいぐるみなどを製造する札幌に本社のある株式会社やなぎ様より、ご寄贈いただきましたぬいぐるみを利用者様にプレゼントしました。お好みのぬいぐるみを持ってにっこり(^^♪　皆様お部屋に飾っていただいています‼

（一緒に踊って♬）

（かわいいぬりぐるみににっこり）

今後の予定

10～11 月にはコロナ禍で制限が多かったお買い物やドライブなど特別外出を行います。11 月には職員の知識を深める事故防止研修や寿司バイキングを予定しています。寿司バイキングは皆さんが楽しみにしている企画なので、どんなネタを提供するか利用者さんの希望を聞いています。12 月はクリスマス会を予定しています。

札幌わらしべ園
東区・苗穂第二事業所

東区事業所
〒065-0042
札幌市東区本町２条６丁目 4-1
℡　011-783-0606(1 階)
　011-790-8130(2 階)
FAX 011-790-6572(共通)
Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1 階)
　Whshuurou01@yahoo.co.jp(2 階

苗穂第二事業所
〒065-0043
札幌市東区苗穂町３丁目 2-35
℡　011-776-7981
FAX 011-776-7982
Mail　naebojimu@hotmail.com

新しい給食提供始まりました／東区事業所あれこれ

（おいしいー◕）

東区事業所では 10 月より昼食に、大手給食会社の日清医療食品（株）様が提供する食卓便を導入しました。導入に際しましては利用者様が、より美味しく召し上がっていただき、栄養価、食べやすさ、衛生面など慎重に検討し、最終的に職員全員で試食して決定しました。また、ごはんはこれまでの弁当形式ではなく、事業所で炊き立てのものを提供するようにしました。お米にもこだわり、道内の契約農家から直接仕入れた選りすぐりのお米を扱う地元のお米販売店と新たに契約しました。食卓便は調理後、急速に冷凍された物を配達していただきます。品数も豊富で利用者様も満足されているご様子です。中でも唐揚げやピザチキンなどの肉料理が人気です。今後も利用者様により満足して頂けるサービス提供を考えて参ります。

10 月には避難訓練も実施しました。今回は地震を想定した訓練を行い、机の下にもぐり、布団やクッション等で頭を保護してもらいました。その後は素早く外へ避難することができました。

創作活動ではみんなアート 2022 に利用者様の作品を応募しました。結果は入賞できませんでしたが、次へ繋がる物が得られたと感じております。来年 2 月にはアート展の開催が予定されているので、それに向けて準備を進めて参ります。

行事ではハロウィンイベントを 10 月末に行いました。利用者様にはハロウィンの塗り絵や創作物を作っていただき、飾りつけを行うなどの準備を一緒に行いました。毎年ハロウィンでは、みんなで仮装をしたり、昼食に特別のイベント食を提供するなどしてレクを楽しんでいますよ。!(^^)!

散歩続けてます!!

天気のいい日に近隣地域や公園への散歩が日課になっています。つい 2 か月程前までは夏の暑い日々のもと半袖を着ての散歩でしたが、今では雪虫がチラホラと飛びかう中、冬の気配を感じながらしっかり着込んでの散歩となっています。散歩中は室内では感じることができない四季折々の戸外の環境と接することにより、興味の示したものに手を伸ばすなど、利用者の皆様にとって大きな刺激になっていると感じております。これから雪が降ると日課の散歩も難しくなってきます。昨年の 3 度にわたる 50ｃｍを超えた積雪を想像すると気持ちが重くなりますが、冬の季節だからこそできるソリ遊びや雪遊びなどの外出を利用者様とともに楽しみ、散歩にかわる活動を準備していきたいと考えています。

一日一句活動１周年！秋の句会開催

（皆さんで俳句を選んでいます）

苗穂第二事業所では一日一句活動「祝一周年」を記念して秋の句会を開催いたしました。「秋」をテーマとし、それぞれが思いついた俳句を次々と発表されておりました。一年前は文字数が合わなかったり、言葉もなかなか思い浮かばず、一句作るのに時間がかかっていた皆さんでしたが、一年間の成果か、皆さん積極的に手を上げて素敵な俳句を詠みあげられておりました。ここでいくつか利用者の皆さんが選んだ秋の俳句をご紹介いたします。テーマ：コスモス「歌いいね　山口百恵の　秋桜は」。テーマ：秋刀魚「秋魚　脂がのって　ご機嫌だ」。テーマ：カボチャ「ほかほかな　ふかしたかぼちゃは　いい匂い」。テーマ：栗「栗一つ　ご飯に入れて　栗ご飯」。テーマ：柿「渋い柿　干し柿にして　甘くなる」など、およそ 30 分で 15 作品を作り詠むことが出来ました。皆さんで「作るの早くなったね！」「一年間の成果かなー？」「もう少しかっこいいの作れそうだね！」と作品が一句出来上がるごとに、拍手され「おおー！」「いいね！」「うまい！」と評価されておりましたよ(^^)日々の積み重ねがとても大事だなと改めて感じる活動となりました。利用者さんの個性が表れる良い活動として今後とも継続していきたいと思います。

札幌わらしべ園
苗穂第一事業所

苗穂第一事業所
〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-37
TEL　011-792-6806
FAX 011-792-6807
Mailsawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

電子レンジで!秋の味覚祭!

（ラップにくるんで―）

10 月初めの土曜営業日に秋の味覚祭を実施しました。時世柄、本格的な調理をすることは感染予防の観点からなかなか難しく、どんなものを提供すれば楽しんでいただけるのか工夫して考えました。今回は電子レンジで作る「焼き芋」と「焼きリンゴ」にしました。食材の切り分けは職員で行い、利用者の皆さんにはご自分の食べる分の準備をしていただきました。焼き芋は好きなものを選んでいただき、濡らしたキッチンペーパーでさつまいもを包み、それをラップにくるんで、電子レンジで温めました。キッチンペーパーやラップは皆さんきれいに巻かれていました。ラップにはそれぞれ名前を書いて頂き、選んださつまいもが分かるようにしました。焼きリンゴは切ったリンゴをお椀に入れ、リンゴの上にザラメを掛けました。遠慮がちに少なめに掛ける方もいれば、ニコニコしながら多めに掛ける方もいらっしゃいました。温めるのにお昼ごろまで時間がかかるため、皆さんそれぞれの活動をしながら待っていただきました。電子レンジで温めている焼き芋や焼きリンゴをのぞきに来て「まだ温めてるねー」、「さつまいも好き！」など楽しみにされている様子が見られました。

（もぐもぐ🔧）

お昼ご飯の時間になり、皆さんに焼き芋と焼きリンゴを提供しました。焼き芋は丁寧に皮を剥いて、パクパク美味しそうに召し上がっていました。すぐに食べ終え、他の方が剥いているのを笑顔で眺めている方もいらっしゃいました。焼きリンゴは温めて柔らかくなったリンゴに溶けたザラメが合わさり、あまーい香りがして、こちらも皆さんもぐもぐと召し上がっていました。溶けたザラメをしっかりと飲み干している方もいらっしゃいました。その日の帰りの会で秋の味覚祭の感想を聞くと「おいしかったです！また食べたいです」、「また作りたい！」と皆さんが楽しまれていたことがわかりました。

無事楽しんでいただけたようでしたが、コロナ禍で制限がある中での実施でしたので、来年こそは皆さんと外で焼き物をするなど、本格的な料理が作れたらと願う秋の味覚祭でした。

避難訓練

（隠れて）

9 月の上旬には、新しい事業所へ移ってから初の避難訓練を実施しました。今回は地震と火災を想定しての訓練を行いました。地震発生の合図で皆さん机の下に隠れたり、マット等で頭を守ったりと、事業所が変わっても戸惑うことなく身の安全を確保することができました。また、避難経路を正面玄関と裏口の 2 か所に分けることで、出口が混み合わず、全員スムーズに避難することが出来ました。

今年の 9 月で胆振東部地震の発生から 4 年が経過します。当時は札幌でも停電や断水の影響を受けました。また、デマなどの偽情報による混乱もありました。過去の教訓を忘れず、これからもいつ起こるか分からない災害にしっかりと備えておきたいと思いました。

職 員 紹 介

氏　名：佐藤（さとう）　隆亮（りゅうすけ）
出身地：江別市
趣　味：カラオケ、洋楽（特に 80 年代）
特　技：スキー
2 年目　生活支援員

正職員 2 年目の佐藤隆亮です。大学では障害心理学を専門として学び、その知識をわらしべ会での生活支援に役立てられることを大変嬉しく思っております。働き始めて 1 年が経過し、仕事の内容を今でも毎日少しずつ覚えており、未だ自分の未熟さを感じております。その中で、自分に対し笑顔で話してくれる利用者さんが増えることは大変なモチベーションとなっております。これからも利用者さんが楽しく過ごすため自分に何が出来るかを常に考え頑張っていきたいと思います。

クローズアップこの活動

～みんなあーと入選しました～

北海道知的障がい者芸術祭「みんなアート」に苗穂第一事業所で応募した作品が入選しました‼事業所ではここ数年「みんなアート」に作品を応募していましたが、なかなか入選まで至らなかったので喜びもひとしおでした。事業所全員で取り組み、完成させたアートが「かでる 27」に展示されることになったので利用者の皆さんと一緒に作品を見に行きました。自分たちの作品に喜ぶ方や、他の展示の方が気になりそっちを集中して眺めている方もいらっしゃいました。来年はさらに上の入賞を目指して皆さんとアート作りをしていきたいと思います。今後の予定としては 10 月にリサイクルを活かした北海道障がい者のアート展に出品します。11 月にはカラフルブレインアートフェス 2022 へ出品します。皆さん手作りアートを鋭意製作中です。

わらしべ菜園・収穫しました

苗穂第二事業所にて、いもほりを行いました。掘り起こす前に春に植えた種イモからどれだけのいもが出来るか、収獲数の予想を皆さんで行い、「190 個！」という方もいれば「5 個！」と豊作と不作どちらの意見もあり、収獲を楽しみにいざ畑へレッツゴー！職員と共にじゃがいもを探しいもが出てくると「あったよ！」「こっちは大きいのも出来てる～」「いっぱい出てきたね！」とあちこちから歓声が上がり、皆さん収穫を楽しまれておりました。天気も良く気温も丁度良い収穫日和に「気持ちいいね」「晴れてほんとによかった」「紅葉もそろそろだね」「とんぼ飛んでるわ」と秋の季節を感じられる利用者さん方の姿もありました♪皆さんで後片付も協力し無事に今年のいもほりも終了いたしました。週明けの月曜日、利用者さんが全員揃い、収獲したじゃがいもの数を数えました☆今年の収穫数は…127 個！小指サイズの小さなものやキズものを全て含めての数ですがたくさんのジャガイモを収穫することが出来ました。その後は皆さんでどんな料理にして食べたいかなど毎年の話題で盛り上がりました。「肉じゃが」「いももち」「じゃがバター」「フライドポテト」などたくさんのじゃがいも料理をイメージされておりました。また、ジャガイモの収穫を終え「今年の畑ももう終わりだね、来年は何植えようかな？」と来年の畑の話題も上がり皆さん楽しまれておりました。収穫したじゃがいもは各グループホームやご自宅で皆さん美味しく召し上がっていただけたらと思います(^^)

通信

グループホーム　シェアハウス

2022 わらしべマラソン開催

8 月 26 日（日）に、はまなす車いすマラソン（北海道マラソン）に参加予定でしたが、開催直前にコロナ感染者の増加傾向がみられたため、今回は参加を辞退することといたしました。しかしマラソンに向け、頑張ってきたお二人の気持ちを汲み、なんとかしたいと職員一同で考え、「わらしべマラソン」を開催いたしました。

当日はモエレ沼公園にて、車いすでも走れるコースを設定しました。職員も多数駆け付け、応援をしました。また独自開催となったため、他の公園利用客の妨げとならないよう、注意しながら開催しました。大会委員長が開催宣言を行い、横断幕と応援うちわに見送られながらマラソンのスタートです!!

天気が良くマラソン日和な中、日ごろの成果を精一杯発揮するといわんばかりの疾走が見られました。荻さんは電動車いすを華麗に操作し、ゴールまで颯爽と駆け抜けました。ゴールでは決めポーズも見られ、さわやかな笑顔が見られました。高橋さんは足先を使って後ろ向きで進まれています。そのためまっすぐ進むのが難しいですが、後ろを適宜確認しながら着実にゴールを目指しておられました。ゴールではテープめがけて最後の力を振り絞っている姿が見られました。お二人とも夏の終わりに素敵な思い出ができたかと思います。来年こそは大会に参加できるよう感染状況の改善を願うばかりです。

わらしべ会創設者 村井正直先生・陽子先生 13 回忌

わらしべ会職員交流研修会

これまで 10 年程にわたってわらしべ会(北海道)とわらしべ会(大阪)との交流は、途絶えたままになっていました。村井正直先生と陽子先生の 13 回忌にあたる今年、大阪法人辻理事長と相談の上、改めて両法人の交流を再開しました。事業の性質上コロナ感染への配慮が必要であり、今年は人数を限定した少数の管理職員中心の交流としました。今後は両法人合同の取り組みなど Web も活用しながら、共同活動を進めたいと考えています。

(大阪法人辻理事長のご挨拶)　(北海道法人・大阪法人職員交流研修会)

(利用者代表による村井正直先生へのメッセージ)
追悼式で披露してくれました。

(村井先生追悼式/
利用者代表メッセージ)

村井先生へ
先生がお亡くなりになり、
13回忌を迎えました
先生のご健在だったころを
思い出しとても優しく、
人の為に尽くす方だった
事を改めて感じました。
わらしべ園は私たちの
「居場所」です。
毎日、楽しく仲間と共に日中活動や日々の生活を送れています。
本当にありがとうございます。
最後に　村井先生に　この句をささげます。
「ありがとう　みていてください　いつまでも」
利用者代表　篠原　淳一

研修報告 全国更宿施設連絡協議会総合職員研修会

基調講演　救護施設真和館 理事長 藤本和彦 氏(熊本県)

この秋、全国更宿施設連絡協議会での熊本県にある救護施設真和館の藤本和彦理事長による基調講演は貴重な学習の機会となりました。この講演のサブタイトルは「アルコール依存症専門施設を目指して」とされていました。利用者の約半数がアルコール依存症の方という特殊な事情に向き合う、法人の実践についてご紹介いただきました。アルコール依存症者の支援を「人間性の回復」とし、法人独自で依存症からの回復に取り組むための基本的「支援体系」と「評価尺度」を設置し、３年間を目途とした支援プログラムに取り組む、大変興味深い内容でした。ご説明の他、アルコール依存から回復した「ピア職員」と呼ばれる職員の方の実体験についてのお話もありました。理事長を中心に、まさに職員総体で「アルコール依存症の方」の専門施設として活動している実践についてお話を伺う機会を頂きました。入所施設機能を活用して専門性を追求した取り組みは、アルコール依存症だけでなく、他の福祉分野で取り入れることができる支援だと感じました。「福祉の役割」について考えることができる、素晴らしいご講演でした。　(報告；川本)

(救護施設真和館　様)

危ない！衝突事故多発、鹿に注意!!

北海道では野生の鹿が増えています。鹿は車を避けることなく、飛び出してくるため、

(シカとの衝突事故が多発
しています)

街場を離れると、車との衝突事故が多発しています。農業被害と事故の被害、特に秋から初冬にかけては鹿を見かけることが多く、田舎道を緊張の運転です。

この本あります！
「日々コウジ中」
柴本礼 著　主婦の友社

映画「いのち見つめて」の中で紹介されているこの本は、クモ膜下出血により記憶や認知、注意に障害が生じ、高次脳機能障害当事者となったご主人と、著者；イラストレーター柴本礼氏とのリハビリの日々や、家族が支える生活の様子がイラストを交えて、分かり易く描かれています。(続・日々コウジ中も出版されているようです。これから文庫に備える予定です)

お　知　ら　せ

❁　ありがとうございました　❁

順不同にてご紹介
ご寄附・ご寄贈頂きました。

佐藤　ひふ美　様　　橋本　誉弘　様
女池　　好子　様　　小寺　雅子　様
（株）　やなぎ　札幌営業所　様
（株）　武田電気　様

皆様のご支援に感謝申し上げます。

健康づくり！みんなのタッピー体操
タッピーわらしべ園のご案内

毎月第 2・4 木曜日 10～11 時開催

~~11 月 10 日~~	11 月 24 日
12 月 8 日	12 月 22 日
1 月 12 日	1 月 26 日

場所：札幌わらしべ園苗穂第一事業所（旧氏家医院）
内容：みんなのタッピー体操他
対象：どなたでも参加できます♪
持ち物：体操用タオル、水分

※感染対策にご協力ください

＊行事表＊

	大　滝		浦　河		札　幌		法　人	
11 月	未定	遠足	9 日	厨房寿司バイキング	10 日	介護予防体操		
			16 日	虐待防止研修	24 日	介護予防体操		
			上旬～下旬	特別外出				
12 月	未定	クリスマス会	3 日	浦河高校吹奏楽部演奏会	3 日	通所土曜営業日	1 日	運営者会議
					8 日	介護予防体操		
					10 日	通所土曜営業日	10 日	創設者陽子先生ご命日
			10 日	クリスマス会	22 日	介護予防体操	15 日	大阪法人交流
					23 日	Zoom 歌合戦	16 日	大阪法人交流
			31 日	年忘れ飲酒会	下旬	クリスマス会	下旬	理事会
					29 日	通所最終日		
1 月	未定	新年会	2 日	騎馬参拝	4 日	通所営業開始		
			18 日	新年会	上旬	新年会		
					7 日	通所土曜営業日		
					12 日	介護予防体操		
					14 日	通所土曜営業日		
					21 日	通所土曜営業日		
					26 日	介護予防体操		

編集後記

北海道では紅葉の時期も過ぎ各所で初雪のたよりが聞かれる季節となってきました。

昨冬は特に札幌を中心とした地域が記録的な豪雪に見舞われＪＲ等の交通機関が麻痺するなど、今まで経験したことが無いような「雪害」に遭遇しました。本年度から新しい体制となった札幌の各事業所では、本格的に雪が降る前に公用車のタイヤ交換も１０月中に全て終了しました。また、除雪機のチェック、駐車場の整備、不足している除雪道具を購入するなど準備をすすめ、活動がスムーズに実施出来るよう備えて参ります。

今年も残すところ２か月をきりました。今冬は新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザも流行する可能性が高いと言われております。皆様どうぞご自愛ください。

編集職員一同